

科目名	旅と文学	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群	
			総合政策学部	□ 必修 ■ 選択
			学科	□ 必修 □ 選択
英文表記	Travels and Literature	開講年次	■ 1年 □ 2年 □ 3年 □ 4年	
		開講期間	■ 前期 □ 後期 □ 通年 □ 集中	
ふりがな	はしもと しほ	実務家教員担当科目	修得単位	2単位
担当者名	橋元志保	実施方法	■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用	
授業のテーマ	文学をはじめとする様々な文化が、観光による地域振興においてどのように活用されているのかを学び、観光の文化現象としての側面を理解し、考察できるようになる。			
到達目標	この授業の単位を良好な成績で修得した場合、次のような知識・能力が身につきます。 1. 聖地巡礼をはじめとする、文化現象に関連した観光の事例に関する知識を養うことができる。 2. 地域振興に大きな経済効果をもたらすコンテンツ・ツーリズムについて理解し、事例等を説明できる。 3. 文学を育んだ風土や、映像文化と地域との関係性に触れ、教養を身につけることができる。			
授業概要	自分の好きな小説や映画、ドラマの舞台となった地方を、実際に訪れてみたいという欲求は誰でも持っているものです。本講義では、コンテンツ・ツーリズムについて学び、様々な表現文化が観光地に与えた影響力についての認識を深めます。また日本各地に、文学者や芸術家たちが残した数多くの足跡は、その地域の文化となって根付き、多くの観光客たちを惹きつけています。文化現象としての観光を理解し、地域を活性化させるための諸条件についても考えていきます。			
授業計画				
第1回	コンテンツ・ツーリズムとは何かー物語の舞台をめぐる旅ー			
第2回	聖地巡礼の構造ー『君の名は』の世界観ー			
第3回	文化現象としての観光ー文学者・作品ゆかりの地をめぐる旅ー			
第4回	『ちはやふる』の世界へようこそⅠー近江神宮と小倉百人一首ー			
第5回	『ちはやふる』の世界へようこそⅡー歌人たちと歌枕の旅ー			
第6回	『ちはやふる』の世界へようこそⅢーロケ・ツーリズムと観光振興ー			
第7回	夏目漱石『坊ちゃん』の松山ー夏目漱石と松山中学ー			
第8回	夏目漱石『坊ちゃん』の松山ー漱石の旅と明治の恋愛ー			
第9回	夏目漱石『坊ちゃん』の松山ー観光資源としての文学ー			
第10回	藤沢周平と庄内映画村ー文学と映像のコラボレーションー			
第11回	大河ドラマと観光振興ー『八重の桜』『西郷どん』『真田丸』他ー			
第12回	映画『THE FIRST SLAM DUNK』の世界観			
第13回	映画『THE FIRST SLAM DUNK』と聖地巡礼			
第14回	コンテンツ・ツーリズムの起源ー映画『ローマの休日』と観光行動ー			
第15回	＜総括＞物語の舞台をめぐる旅ー文学・映画・ドラマ・アニメーションの舞台と観光振興ー			
第16回	定期試験			
授業時間外の学習	1. 授業で取り上げる評論や小説を、指定された頁まで必ず読んできてください。また、難解な漢字や語句の意味は必ず調べておきましょう（1時間程度）。 2. 課題プリントを毎回配布しますので、授業を復習しながら記述し、提出してください（1時間程度）。 3. 授業時に紹介する小説や随筆、論文等をぜひ読んでみましょう（1～2時間程度）。			
履修条件 受講のルール	特にありません。授業態度が真面目で、主体的であることが望ましいです。			
テキスト	資料を配布するか、ポータルサイトで掲示します。夏目漱石『坊ちゃん』（岩波書店 1989年）・コンテンツ・ツーリズム学会『コンテンツ・ツーリズム入門』（古今書院 2014年）他			

参考文献・資料	増渕敏之『物語を旅するひとびと コンテンツ・ツーリズムとは何か』（彩流社 2010年）他
成績評価の方法	【主体的な学びの姿勢（15%）、課題の提出（25%）、試験（60%）】を基に、総合評価をします。 ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。
オフィスアワー	木曜・金曜日 14:40-16:10 ※これ以外の時間は、事前に予約してください。
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	コンテンツ・ツーリズムは、経済波及効果の高いニューツーリズムの一種です。地域の活性化のために尽力したい人、観光行政に携わりたい人、旅行業に関心のある人には、お勧めの授業です。また、文学や映画・旅が好きな人、「聖地巡礼」に関心がある人にも楽しめる内容です。ご一緒に、素晴らしい物語の舞台をめぐる旅に出かけましょう。